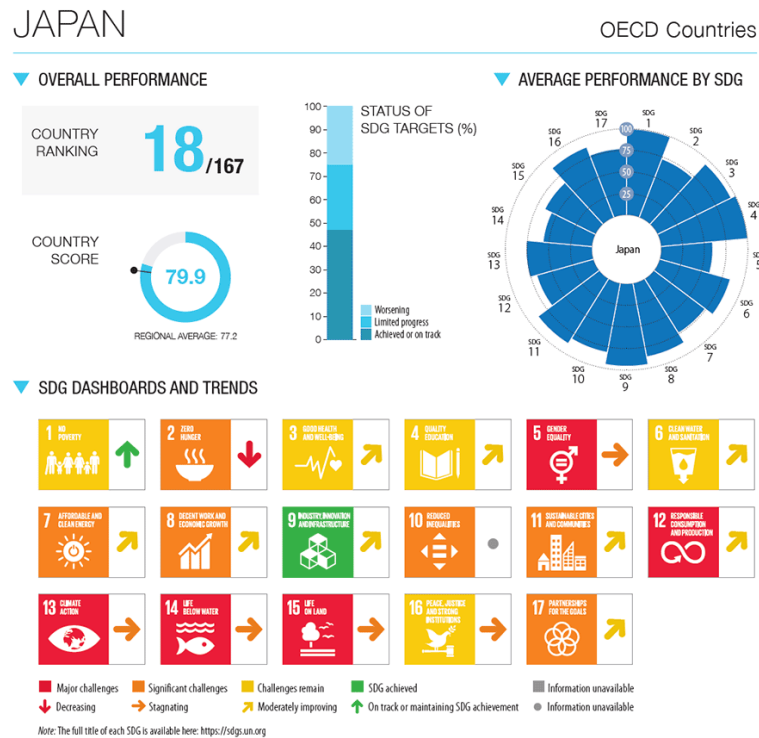


【SDGs 達成度ランキング】日本、2024 年は世界 18 位に上昇

しかし、気候変動対策など最低評価



2024 年の日本の SDGs 達成度は世界 18 位

(出典：Sustainable Development Report 2024 p.252)

国際的な研究組織「持続可能な開発ソリューション・ネットワーク」SDSN は 6 月 17 日、世界各国の SDGs の達成度を評価した「Sustainable Development Report」(サステナブル・ディベロップメント・レポート、持続可能な開発報告書) の 2024 年版を発表した。日本の SDGs 達成度は 167 カ国中 18 位で、過去最低順位だった前年 (166 カ国中 21 位) から 3 ランク上がった。しかし、17 の目標のうちジェンダー平等や気候変動対策など五つの目標が前年に続いて「最低評価」。1 位は 4 年連続でフィンランド、上位は欧州諸国。日本は 7 年ぶりに順位上昇したが 5 目標が依然最低評価。2030 年に達成可能なターゲットはわずか 16% だった。報告書は、米コロンビア大の経済学者、ジェフリー・サックス教授が代表を務める SDSN が 2016 年から毎年発表。国連や研究機関などの統計資料をもとに、各国の SDGs の取り組みを 100 点満点で点数化した SDGs 達成度 (SDG Index) を公表し、ランキングにしている。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT REPORT 2024

The SDGs and the UN Summit of
the Future

Includes the SDG Index and Dashboards



SUSTAINABLE DEVELOPMENT
SOLUTIONS NETWORK
A GLOBAL PARTNER FOR THE UNITED NATIONS

Sustainable Development Report 2024 の表紙

2024 年版のランキング 1 位はフィンランド (86.4) で、前年 (86.8) からスコアを下げたものの 4 年連続のトップ。2 位はスウェーデン (85.7)、3 位はデンマーク (85.0)、4 位はドイツ (83.4)、5 位はフランス (82.8) と続き、4 位のドイツまでは前年と同じ顔ぶれ。24 位のオランダ (79.2) までは 18 位の日本 (79.9) を除いて欧州の国々が占め、前年からの順位とスコアの変動は小幅だった。米国は 46 位 (74.4)、中国は 68 位 (70.9) だった。

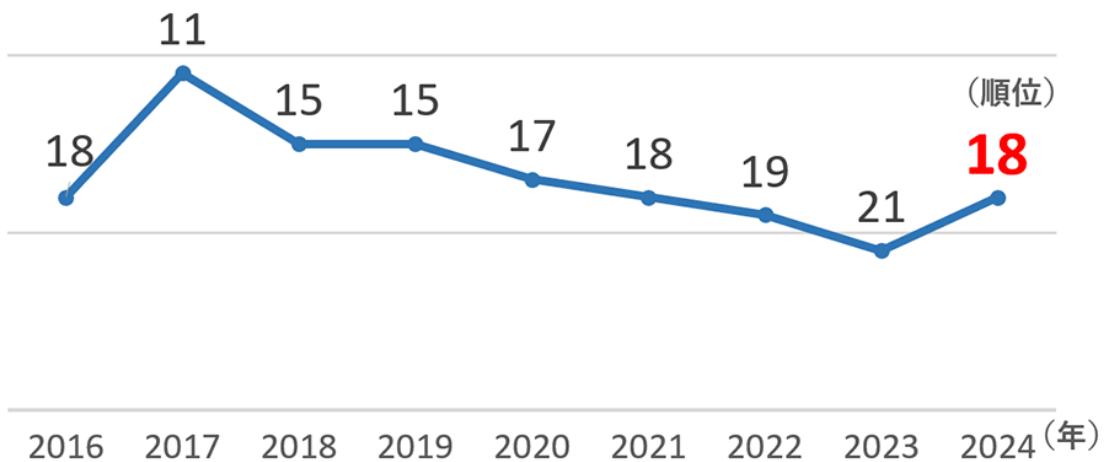
上位国と主な国の SDGs 達成度 (カッコ内は前年の順位とスコア)

- 1 フィンランド 86.4 (1、86.8)
- 2 スウェーデン 85.7 (2、86.0)
- 3 デンマーク 85.0 (3、85.7)
- 4 ドイツ 83.4 (4、83.4)
- 5 フランス 82.8 (6、82.0)
- 6 オーストリア 82.5 (5、82.3)
- 7 ノルウェー 82.2 (7、82.0)
- 8 クロアチア 82.2 (12、81.5)
- 9 英国 82.2 (11、81.7)
- 10 ポーランド 81.7 (9、81.8)
- 11 スロベニア 81.3 (13、81.0)
- 12 チェコ 81.3 (8、81.9)
- 13 ラトビア 81.0 (14、80.7)
- 14 スペイン 80.7 (16、80.4)
- 15 エストニア 80.5 (10、81.7)
- 16 ポルトガル 80.2 (18、80.0)
- 17 ベルギー 80.0 (19、79.5)
- 18 日本 79.9 (21、79.4)**
- 19 アイスランド 79.5 (29、78.3)
- 20 ハンガリー 79.5 (22、79.4)
- 33 韓国 77.3 (31、78.1)
- 46 米国 74.4 (39、75.9)
- 56 ロシア 73.1 (49、73.8)
- 68 中国 70.9 (63、72.0)
- 109 インド 64.0 (112、63.4)
- 165 チャド 45.1 (164、45.3)
- 166 中央アフリカ 44.2 (165、40.4)
- 167 南スーダン 40.1 (166＝最下位、38.7)

日本は7年ぶりに順位上昇、5目標が依然最低評価

日本のSDGs達成度ランキングは、2017年の11位をピークにじりじりと下がってきた。2023年は21位で、初めて20位台に転落したが、2024年は7年ぶりに上昇に転じた。

日本のSDGs達成度ランキングの推移



報告書は各国の取り組みの進み具合を17の目標ごとに「達成済み」「課題が残る」「重要な課題がある」「深刻な課題がある」の4段階で評価している。日本は2024年版では「達成済み」が一つ、「課題が残る」が五つ、「重要な課題がある」が六つ、「深刻な課題がある」が五つだった。

SDG DASHBOARDS AND TRENDS



Note: The full title of each SDG is available here: <https://sdgs.un.org>

17 の目標ごとに評価された日本の SDGs 達成状況。アイコンの背景色は、緑が「達成済み」、黄色が「課題が残る」、オレンジが「重要な課題がある」、赤が「深刻な課題がある」。

(出典：Sustainable Development Report 2024 p.252)

【達成済み】(SDG achieved)：一つ

- ・目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

【課題が残る】(Challenges remain)：五つ

- ・目標 1「貧困をなくそう」
- ・目標 3「すべての人に健康と福祉を」
- ・目標 4「質の高い教育をみんなに」
- ・目標 6「安全な水とトイレを世界中に」
- ・目標 16「平和と公正をすべての人に」

【重要な課題がある】(Significant challenges)：六つ

- ・目標 2「飢餓をゼロに」
- ・目標 7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」
- ・目標 8「働きがいも経済成長も」
- ・目標 10「人や国の不平等をなくそう」
- ・目標 11「住み続けられるまちづくりを」
- ・目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

【深刻な課題がある】(Major challenges)：五つ

- ・目標 5「ジェンダー平等を実現しよう」
- ・目標 12「つくる責任、つかう責任」
- ・目標 13「気候変動に具体的な対策を」
- ・目標 14「海の豊かさを守ろう」
- ・目標 15「陸の豊かさも守ろう」

最低評価である「深刻な課題がある」とされた目標の数は、昨年と同じ五つ。目標 5「ジェンダー平等を実現しよう」は、国会議員（衆院議員）の女性比率の低さと男女の賃金格差が引き続き問題だとされた。

SDG5 – Gender Equality				
Demand for family planning satisfied by modern methods (% of females aged 15 to 49)	*	69.1	2024	● ↗
Ratio of female-to-male mean years of education received (%)		94.9	2022	● →
Ratio of female-to-male labor force participation rate (%)		76.7	2023	● ↑
Seats held by women in national parliament (%)		10.3	2024	● →
Gender wage gap (% of male median wage)		21.3	2022	● ↗

2024 年版での日本の目標 5「ジェンダー平等を実現しよう」に対する評価

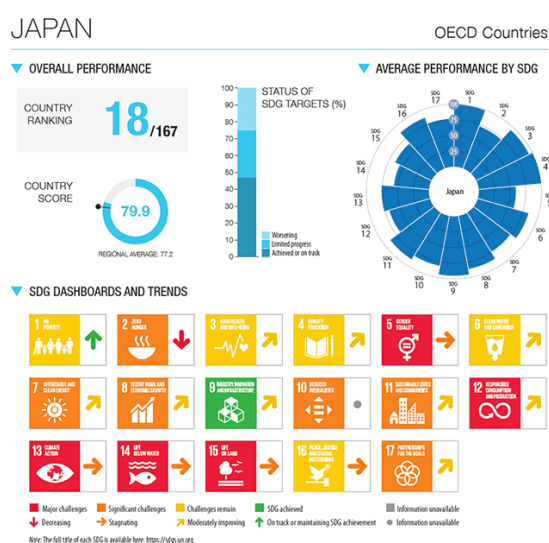
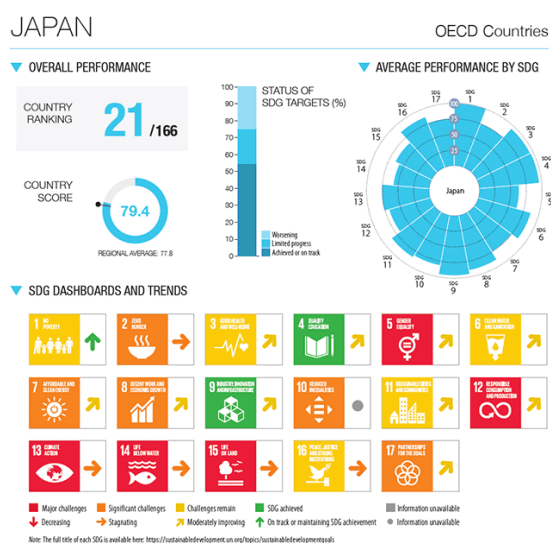
(出典：Sustainable Development Report 2024 p.253)

目標 12「つくる責任、つかう責任」はプラスチックごみの輸出量の多さが前年に続いて問題視されている。目標 13「気候変動に具体的な対策を」は、化石燃料の燃焼やセメント製造にともなう二酸化炭素（CO2）排出量などが多く、低評価だった。目標 14「海の豊かさを守ろう」、目標 15「陸の豊かさも守ろう」も大きな改善はみられていない。

SDG12 – Responsible Consumption and Production					
Electronic waste (kg/capita)	20.4	2019	●	●	
Production-based air pollution (DALYs per 1,000 population)	3.6	2024	●	→	
Air pollution associated with imports (DALYs per 1,000 population)	6.6	2024	●	→	
Production-based nitrogen emissions (kg/capita)	14.3	2024	●	↑	
Nitrogen emissions associated with imports (kg/capita)	21.9	2024	●	→	
Exports of plastic waste (kg/capita)	5.8	2022	●	↑	
Non-recycled municipal solid waste (kg/capita/day)	0.7	2021	●	↑	
SDG13 – Climate Action					
CO ₂ emissions from fossil fuel combustion and cement production (tCO ₂ /capita)	8.5	2022	●	→	
GHG emissions embodied in imports (tCO ₂ /capita)	5.1	2021	●	→	
CO ₂ emissions embodied in fossil fuel exports (kg/capita)	0.3	2022	●	●	
Carbon Pricing score at EUR60/tCO ₂ (% , worst 0–100 best)	22.9	2021	●	→	
SDG14 – Life Below Water					
Mean area that is protected in marine sites important to biodiversity (%)	66.5	2023	●	→	
Ocean Health Index: Clean Waters score (worst 0–100 best)	68.7	2023	●	↗	
Fish caught from overexploited or collapsed stocks (% of total catch)	60.9	2018	●	↓	
Fish caught by trawling or dredging (%)	19.6	2019	●	→	
Fish caught that are then discarded (%)	9.2	2019	●	↑	
Marine biodiversity threats embodied in imports (per million population)	1.0	2018	●	●	
SDG15 – Life on Land					
Mean area that is protected in terrestrial sites important to biodiversity (%)	65.1	2023	●	→	
Mean area that is protected in freshwater sites important to biodiversity (%)	63.5	2023	●	→	
Red List Index of species survival (worst 0–1 best)	0.75	2024	●	↓	
Permanent deforestation (% of forest area, 3-year average)	0.0	2022	●	→	
Imported deforestation (m ² /capita)	19.9	2022	●	↗	

2024 年版での日本の目標 12「つくる責任、つかう責任」から目標 15「陸の豊かさも守ろう」までの評価。
（出典：Sustainable Development Report 2024 p.253）

前年と比べて評価が下がった目標は二つ。目標 4「質の高い教育をみんなに」は前年まで最高評価の「達成済み」だったが、PISA（Programme for International Student Assessment：生徒の学習到達度調査）の調査結果について「生徒の社会経済的背景が数学の得点に影響する度合い」に課題が残るとされたことが影響し、2 段階目の「課題が残る」になった。目標 11「住み続けられるまちづくりを」は 2 段階目の「課題が残る」から 3 段階目の「重要な課題がある」に転落。「家賃負担が重い人々の割合」が増えたことが響いた。



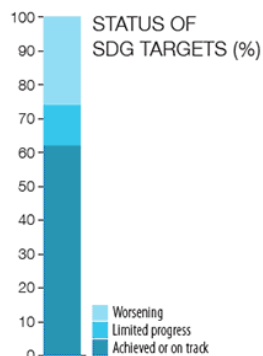
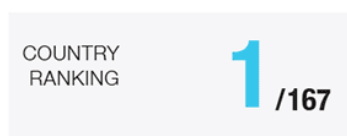
2023 年（左）と 2024 年の日本の SDGs 達成状況の比較。

（出典は左：Sustainable Development Report 2023 p.290、右：Sustainable Development Report2024p.252）

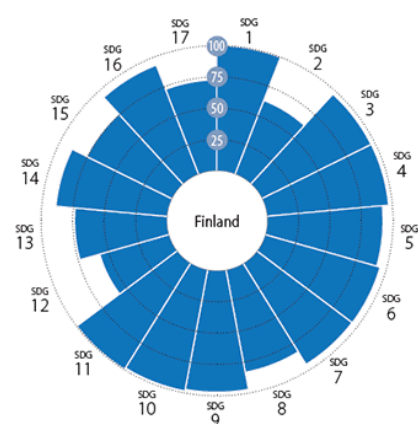
FINLAND

OECD Countries

OVERALL PERFORMANCE



AVERAGE PERFORMANCE BY SDG



SDG DASHBOARDS AND TRENDS



Note: The full title of each SDG is available here: <https://sdgs.un.org>

ランキング1位のフィンランドでも、17目標のうち「達成済み」(アイコン色が緑)は二つにとどまる。

(出典：Sustainable Development Report 2024 p.202)

2030年に達成可能なターゲット、わずか16%

報告書は世界全体のSDGsの進捗について、こう述べている。

「SDGsのターゲット(17目標の下にある169の小目標)のうち、2030年までに達成できそうなものはわずか16%しかなく、残りの84%は進捗が限定的か後退している。世界レベルではSDGsの進捗は2020年以降停滞しており、特に目標2(飢餓をゼロに)、11(住み続けられるまちづくりを)、14(海の豊かさを守ろう)、15(陸の豊かさを守ろう)、16(平和と公正をすべての人に)は、達成への軌道から外れている」

Figure 2.2

World SDG Dashboard 2024



Source: Authors

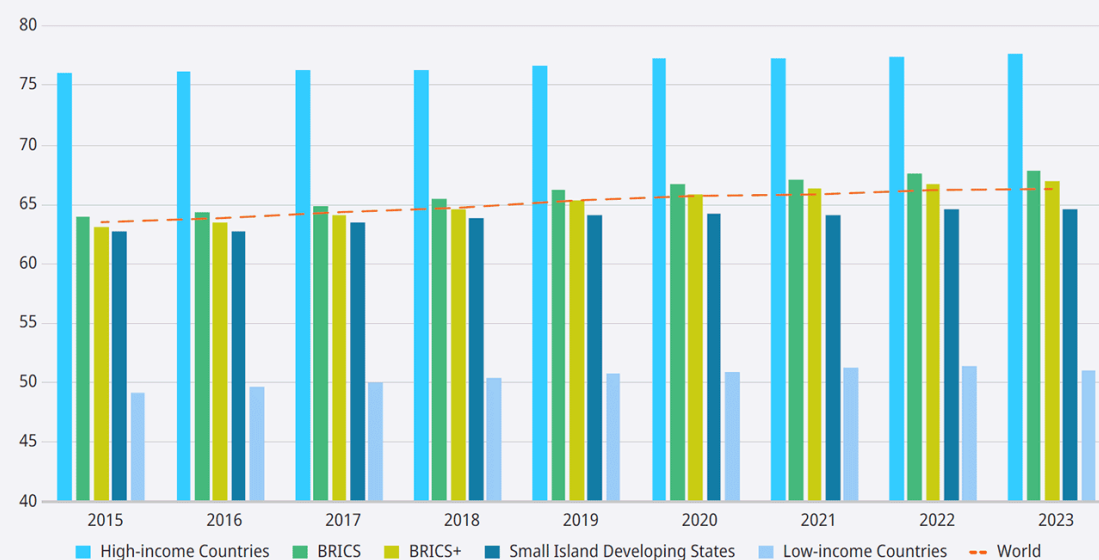
世界全体の目標別の SDGs 達成状況

(出典：Sustainable Development Report 2024 p.17)

SDGs の進捗は国のグループによって異なり、世界平均と最貧国や最も脆弱(ぜいじゃく)な国々の格差は 2015 年から拡大しているとも指摘。低所得国の持続可能な開発のためには大規模な資金調達が必要だとしている。

Figure 2.3

Average SDG Index score by selected country groups, 2015–2023



Source: Authors

世界平均と国グループ別の SDGs 達成度。低所得国では達成度が低い状態が続いている。

出典：Sustainable Development Report 2024 p.18)

さらに、報告書は「特に軌道から外れている」分野として食料・土地システムを挙げた。2030年時点でも世界で6億人が飢餓に苦しむと予測されている一方で、肥満は増加し農林業などからの温室効果ガス排出量が全体の約4分の1を占めているとしたうえで、動物性たんぱく質の消費抑制や森林破壊を食い止めるための監視システムの導入といった対策が必要だと指摘している。

SDGsとは？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任、つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリープで目標を達成しよう	

持続可能な開発目標
のこと

Sustainable Development Goals
(読みかたは
エス・ディー・ジーズ)

- ◆2015年の国連サミットで採択され、**2030年**までの達成をめざす国際社会の共通目標
- ◆環境、社会、経済に関する**17**の目標、**169**のターゲット
- ◆「誰ひとり取り残されない」を理念にする

The Asahi Shimbun
SDGs ACTION!